

民生福祉常任委員会記録

平成30年6月4日

【開催日】 平成30年6月4日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前10時～午前11時35分

【出席委員】

委員長	吉永美子	副委員長	山田伸幸
委員	大井淳一朗	委員	杉本保喜
委員	恒松恵子	委員	松尾数則
委員	矢田松夫		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】

福祉部長	岩本良治	福祉部次長兼高齢福祉課長	兼本裕子
福祉部次長兼国保年金課長	桶谷一博	子育て支援課長	川崎浩美
子育て支援課課長補佐	別府隆行		

【事務局出席者】

事務局長	中村聡	議事係主任	原川寛子
------	-----	-------	------

【付議事項】

所管事務調査 出合保育所再編問題への対応について（子育て支援課）

午前10時 開会

1 所管事務調査 出合保育所再編問題への対応について（子育て支援課）

【議事の概要】

・まちづくり懇談会（出合保育園の統廃合について）の概要説明

申込者：出合地区自治会協議会

開催日時：5月15日（火）18時から

会場：出合公民館

出席者：出合校区住民35名、市職員7名

懇談内容：別添資料のとおり

・今後の方針

地域の意見・気持ちを念頭に置いて、災害対策に備えるとともに、跡地利用や地域の活性化について市の内部に伝える。また、今回の地域の声を今後の行政運営の必要な場で生かしたい。

【主な質疑】

松尾数則委員 厚陽保育園の敷地面積は広いが、建築面積は幾らで、何年に建設されたのか。

別府子育て支援課課長補佐 延べ床面積644㎡で、昭和47年4月である。

松尾数則委員 厚陽保育園の建物に損傷は余りないと判断していいのか。

別府子育て支援課課長補佐 市内の公立保育所はどの施設も老朽化している。厚陽保育園も必要な改修を行い、使用する。

大井淳一郎委員 厚陽保育園は小野田側からも受け入れている。日の出保育園は建替えにより定員が減る可能性がある。これにより厚陽保育園の存廃に影響があるのではないか。

川崎子育て支援課長 厚陽保育園も存続する前提で、日の出保育園を170人に定員設定している。敷地面積に応じて2階にするなど考える必要がある。

大井淳一郎委員 スマイルキッズの隣の市有地で170人定員の保育園を建てることのできるのか。

川崎子育て支援課長 170人定員の施設を建設する方向で、場所を検討している。

大井淳一郎委員 小野田の子どもがほかの保育園に通う状況は続いているのか。

川崎子育て支援課長 高千帆校区の需要が多く、地区外の保育園に行く方もいる。

杉本保喜委員 170人定員の保育園の敷地面積はどのくらい必要か。

川崎子育て支援課長 4,000㎡程度を念頭に場所を探している。

杉本保喜委員 それは平屋の場合の面積か。

川崎子育て支援課長 平屋建てであれば4,000㎡は必要だと思っている。2階建てで園庭を広く取らなければ、4,000㎡なくても可能だと思っている。

矢田松夫委員 日の出や厚陽の話が出ているが、今日の議題は出合保育所の再編問題であり、そのことを議論してもらいたい。

杉本保喜委員 9会場で説明会を実施したが、出合地区で実施したのか。

別府子育て支援課課長補佐 5会場は公立保育所、4会場は再編に関係する中学校区と考え、市役所、津布田会館、厚狭地区複合施設、厚陽公民館で行った。

杉本保喜委員 跡地利用について出合地区の住民と懇談会等は実施しないのか。

別府子育て支援課課長補佐 保育環境の整備が優先課題で、跡地利用は実際には進んでいない状況である。

杉本保喜委員 跡地利用や地域の活性化について行政がどう考えているか早く明確にすべきである。

川崎子育て支援課長 企画政策課が中心となり関係課と協議をするという方向で、市のその他の跡地利用も含め、検討に取り掛かっている。

吉永美子委員長 跡地利用については企画政策課中心ではなく、全体的なプロジェクトという形が取れないか。

川崎子育て支援課長 企画政策課が中心だが、横断的にいろいろな課が加わる。恒松恵子委員 病児保育の現状と改善案について聞きたい。

川崎子育て支援課長 病児保育事業所は公園通りと市役所裏の2か所ある。また、他市と協定を結び、他市の病児保育事業所を市民が利用できる。今年度、県が県内の病児保育事業所を相互利用できる仕組みを考えている。

大井淳一朗委員 出合保育園を建替えではなく、駅南にした主な理由は何か。

別府子育て支援課課長補佐 厚狭中学校区で4,000㎡規模の土地があるのが厚狭駅南だけであること。土地造成が終わっており、早期の整備が可能であること。現地建替えと比較し、一般財源の負担でそれほど高い試算ではなかったこと。主要道路に近く、自動車での送迎の利便性が高いこと。下津保育園と出合保育園の中間地点であること。周辺に公園や高齢者施設があり、交流が可能であること。厚狭駅南のコンパクトなまちづくりモデル地区内の起爆剤としての効果が認められることである。

大井淳一朗委員 厚狭駅南のまちづくりの計画の一つに公営住宅建設もあるが、進捗状況はどうか。また、厚狭駅南に公立保育所を造ると民業圧迫になるという意見もあるが、どう考えているか。

川崎子育て支援課長 公営住宅については担当部署で協議を進めている。また、民間圧迫という意見は聞いており、市としては民間圧迫にならないように、市の受入れを調整すると回答している。

吉永美子委員長 公立保育所再編計画の説明会の周知は班回覧と広報で行ったということだが、広報紙はいつ掲載されたのか。

別府子育て支援課課長補佐 1月15日号である。

吉永美子委員長 広報掲載後、電話等で市民の反応はあったか。

別府子育て支援課課長補佐 記憶には残っていない。

山田伸幸副委員長 地域の納得を得たと考えているか。

別府子育て支援課課長補佐 保育所再編の必要性についてはおおむね理解を得たと考えている。駅南への移動についても、地域の活性化や跡地利用の意見はあるが、おおむねの理解はもらえたという認識を持っている。

山田伸幸副委員長 回覧で出合保育所がなくなることを書かなかったことに対

して不信感を持っている印象を受けたが、私の認識が違うのか。

別府子育て支援課課長補佐 周知の際に統廃合を隠す意図があったわけではない。最後まで反対を訴えた人がいたが、おおむねの意見としては跡地利用に住民の意見も取り入れて進めてほしいという意見で締めくくられたという認識である。

山田伸幸副委員長 浸水の不安は解消されていないのではないか。

川崎子育て支援課長 駅南は河川改修等の対策は完了している。想定外に対応できるように園での危機管理マニュアルと避難訓練を徹底していきたい。

山田伸幸副委員長 駅南での子どもたちの避難所はどこか。

川崎子育て支援課長 厚狭地区の第1避難所は厚狭地区複合施設になるが、現在、具体的な場所の選定はしていない。施設ができるまでには対応したい。

山田伸幸副委員長 浸水している最中に避難させるのか。

川崎子育て支援課長 水が押し寄せてきている中を避難するということは不可能である。早期の情報収集が大切であり、万が一、想定外の状況により他の施設へ避難できない状況になったときの対策は、施設に盛り込めるように基本設計の中で検討している。

大井淳一朗委員 危機管理マニュアルは公開されているのか。

川崎子育て支援課長 公表はしていない。各園で共通のものを作っていて、毎年見直しをしている。

大井淳一朗委員 最後の改訂年月日はいつか。

川崎子育て支援課長 毎年4月に見直しをしている。内容は行動マニュアルである。

大井淳一朗委員 いつ作ったのか。

川崎子育て支援課長 各園まちまちなものを作っていたが、28年度に統一のものを作成した。

杉本保喜委員 訓練は義務付けているのか、自発的にやっているのか。

川崎子育て支援課長 年に12回避難訓練を実施している。そのうち1回は消防に来てもらい指導を受けている。梅雨前には水害に対する避難訓練を行っている。

矢田松夫委員 平成28年11月29日の子ども・子育て協議会の議事録はあるのか。

川崎子育て支援課長 全てホームページに公表しているが、この段階では再編計画が決定しておらず、市の意思決定前の内容であるため非公開とし、ホームページにも載せていない。議事録は担当課にある。

矢田松夫委員 意思決定をしたのだから公開できるのではないか。できるなら出してもらいたい。

吉永美子委員長 決裁が必要で、今日出すことは難しいようなので、概要を口頭で説明してください。

別府子育て支援課課長補佐 主な意見は児童の最善の利益につながるような取組を進めてほしい。私立保育園も私立幼稚園も経営があるので、定員は慎重に設定してほしい。小野田南部にも公立保育所が必要なのではないか。多様な事業主体があったほうが良いという意味で、公立保育所もあってよい。障害児保育等、手間とお金が掛かる部分を積極的に公立保育所が担うべきである。将来を見据え、子どもたちのためにどのようなまちづくりをするかという観点から話し合わなければならない。兄弟が別々の保育所に通っている事例もあり、このような状況を改善するためにも保育所再編が必要である。学校との複合化、地域施設との複合化なども視野に入れて考えるべきであるという意見を頂いた。

川崎子育て支援課長 意見を基に計画を修正した点は、公立保育所の必要性を追記した。

矢田松夫委員 修正は1か所だけか。

川崎子育て支援課長 主なものは1か所である。

矢田松夫委員 議事録の資料請求をお願いしたい。

吉永美子委員長 後日お願いする。

矢田松夫委員 敷地が狭く、借地もある下津保育所を建て替えない理由は分かるが、出合保育所を現地建替えしない理由は何か。

別府子育て支援課課長補佐 候補として検討したが、規模を拡大するには土地が狭く、在来線が北側にあるので懸念があるという意見があった。

矢田松夫委員 土地の購入費は議題にならなかったのか。

別府子育て支援課課長補佐 出合の土地ということか。

矢田松夫委員 厚狭駅南が1億4,000万だが、もっと安くて広い公有地や民有地を買うという手段は取れなかったのか。

別府子育て支援課課長補佐 出合の現地を含め、近隣の土地を購入するという議論があったかどうかは覚えていない。金額が幾らになるか試算した覚えはない。

矢田松夫委員 厚狭駅南は出合と下津の中間点であり、4,000㎡の土地があるという2点で決定したのではないか。

川崎子育て支援課長 市有地優先で考え、中間地点に4,000㎡程度の土地がなく、最終的に土地開発公社の土地に決定した。民間の土地も考えたが、

適地はなかったという協議があったと記憶している。

矢田松夫委員 民間の土地も検討したが、代替地はなかったということか。

川崎子育て支援課長 民有地を細かく検討したわけではなく、基本的には市有地を優先し、民間の適地があればという協議である。

矢田松夫委員 どの辺の民有地を検討したのか。

川崎子育て支援課長 具体的にはない。

矢田松夫委員 民有地は検討していなかったのではないか。少し高いが土地開発公社の土地が余っているから駅南にしたのではないか。

別府子育て支援課課長補佐 最初から駅南ありきだったわけではない。下津については面積が足りないため、近隣の民有地の購入も検討した。様々な要因があり、最終的に駅南が良いと判断した。

矢田松夫委員 萩原住宅にも広いところがある。なぜ出合の現地建替えを検討しなかったのか。

川崎子育て支援課長 出合の現地建替えも検討したが、内部で140人規模の保育所を建てるには敷地面積が少ないという意見があった。萩原団地を整地するという意見もあったが、交通の利便性を考え、検討から外れたと記憶している。

矢田松夫委員 建設部長は駅南のコンパクトシティが発展しない理由を国道2号、国道316号との交通アクセスが悪いためと言っている。執行部の中で考えが矛盾しているのではないか。

川崎子育て支援課長 個人的な意見だが、保育園の送迎についての交通の利便性は日の出保育園と比較すると駅南は車で行くには良いと思っている。

矢田松夫委員 バイパスからなら良いが、2号や316号からのアクセスはどうか。

川崎子育て支援課長 他の保育園と比較しても利便性が悪いとは思っていない。

大井淳一郎委員 出合保育園の充足率は57.8%だが、なぜ少ないのか。

川崎子育て支援課長 建てた当時は3歳以上が多いということで、面積から定員120人を設定していた。現在、0歳、1歳、2歳児が増えており、施設面積では120人を受け入れられるものにはなっていない。

大井淳一郎委員 出合保育所の人数が少ないのは交通の利便性の問題なのか、0歳、1歳、2歳児のニーズに応えるのが難しいからなのか。

川崎子育て支援課長 現状では0歳、1歳、2歳の要望に応えると、現状の受け入れしかできない。

大井淳一郎委員 出合保育園の送迎の利便性はどうか考えているか。

川崎子育て支援課長 山野井工業団地や下関に勤めている人にとっては良い場

所だと思っている。

山田伸幸副委員長 出合保育園の適正な定員は何名なのか。

川崎子育て支援課長 年齢構成が毎年違うので決定しづらいが、現在の受入れ人数である70人程度が現状の年齢別保育需要に対しての適値と思う。

山田伸幸副委員長 実際の定員は70人程度と考えてよいか。

川崎子育て支援課長 保育園には認可定員と利用定員があり、条例で定めているのは認可定員である。私立保育園は利用定員を定めており、それに基づき運営費を支払っている。公立保育園には運営費の支払がないので、利用定員については定めていない。

山田伸幸副委員長 利用年齢、施設の構造から考えると一概に充足率が低いとはいえないと考えてよいか。

川崎子育て支援課長 そのとおりである。

矢田松夫委員 水害の件は完成したとのことであるが、平成22年の水害程度は対応できるということか。対策工事は終わったのか。

川崎子育て支援課長 5月末が完了予定と聞いている。

矢田松夫委員 ポンプの増設工事などが完了する前の平成28年に建設を決めたのはなぜか。

別府子育て支援課課長補佐 厚狭川の堤防かさ上げや川底の掘削の工事などは25年から26年に完成している。最終的な河川改修が今年の5月末に完成したと聞いている。

矢田松夫委員 建設予定地には自然も残っていると言っているが、今の状態を自然環境というのか。

川崎子育て支援課長 自然環境は具体的にすばらしいものがあるということではなく、桜公園や川などがあり、自然環境は良いと思っている。

矢田松夫委員 現状で良好な自然環境は完成したと捉えてよいか。

川崎子育て支援課長 敷地の周辺には緑を植えることも考えている。自然環境は良いと判断している。

山田伸幸副委員長 南海トラフの地震が起こったとき、液状化は考慮されているのか。

別府子育て支援課課長補佐 今年度の実施設計の中で地質調査を行い、必要な対策は行いたい。

山田伸幸副委員長 液状化に対策はできるのか。

川崎子育て支援課長 地質調査を行うことにしているので、その結果によりどういうことが必要なのか専門的な判断になる。液状化の対策をすぐ行うということではない。

吉永美子委員長 災害対策や跡地利用について地域住民に周知する方法を何か考えているか。

川崎子育て支援課長 説明会開催は地区会長に事前に話をした後に市広報や班回覧で周知を図るなど、必要な手続を踏み、実施したと思っているが、反省点もある。この反省点と懇談会の意見を念頭に置き、必要に応じて説明するなど最善を尽くしたい。

吉永美子委員長 その際には担当委員会にも知らせてほしい。

矢田松夫委員 厚狭川等の改修工事により、平成22年と同じ雨量であれば安全ということか。また、駅南でも園児が公民館活動に参加できるようにしていくのか。また、出合地区の民有地については検討していないということの良いか。

吉永美子委員長 「良い」とのことである。

山田伸幸副委員長 出合保育園近くの在来線がデメリットと考えてよいか。

別府子育て支援課課長補佐 園児が敷地外に出ることはないが、近くに在来線があるのは好ましくないという議論があったと記憶している。

山田伸幸副委員長 駅南のときは「子どもは電車があることを喜んでいる」という答弁があったが矛盾していないか。

川崎子育て支援課長 出合保育園は線路側に木が生い茂り、柵もないため、不審者の侵入が分かりにくいという意見もあった。

山田伸幸副委員長 不審者という話は先ほどの話にはなかった。

川崎子育て支援課長 協議の中で不審者の対応だけでなく、柵がないため線路に出て事故に遭うという懸念があったと記憶している。

午前11時35分 散会

平成30年6月4日

民生福祉常任委員長 吉永美子